

2022年9月1日

株式会社 FISCO Decentralized Application Platform

バーチャル株主総会プラットフォームの新規提供先のお知らせ ～株式会社 QD レーザ様の株主総会へ提供～

株式会社 FISCO Decentralized Application Platform(本社:大阪府岸和田市、代表取締役:城丸修一、以下、「FDAP」)は、バーチャル株主総会プラットフォームを株式会社 QD レーザ(グロース上場、証券コード「6613」、本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:菅原充)の2022年6月28日開催の定時株主総会へ新規提供したことをお知らせいたします。

■バーチャル株主総会プラットフォームについて

株主さまが株主総会会場にご来場いただかなくても、インターネット上でバーチャルに株主総会に出席できるシステムです。

企業さまと株主さまの双方に本プラットフォームを利用いただくことで

- ・株主総会の視聴ができる「参加型」
 - ・株主総会の視聴、議決権の行使、質問投稿ができる「出席型」
- のバーチャル株主総会を実現いたします。

バーチャル株主総会プラットフォーム紹介サイト URL

<https://www.fisco.co.jp/shareholders/index.html>

■FDAPによるDapps事業について

FDAPは複数のDapps(ブロックチェーン上でソフトウェアを動作させる分散型アプリケーション)を保有しており、各アプリケーションからキャッシュ・フローが生まれるようになっています。

具体的には、FSCC レンディング、バーチャル株主総会プラットフォーム、株主優待プラットフォーム等のアプリケーションがあります。

アプリケーションで得た収入の一部は、フィスココインの購入資金やフィスココイン(FSCC)レンディングの貸借料に充当されます。

FDAPでは、今後もFSCCの利用範囲の拡大と、DApps、DeFi(Decentralized Finance:分散金融/分散型金融、※1)の概念を活用した新規ビジネスの創造を目指してまいります。

(※1)Decentralized Financeの略語。金融分野におけるDApps。非中央集権の暗号資産交換所やデリバティブ、レンディング等のサービスがあり、最も注目される分野の一つです。

【株式会社 FISCO Decentralized Application Platform の概要】

所在地:大阪府岸和田市荒木町二丁目18番15号

設立日:2017年9月12日

資本金:75百万円(2021年12月31日現在)

代表者:代表取締役 城丸 修一

事業内容:暗号資産を含む運用、アプリケーションの開発・運用等